

- ▶アンケート集計「キリスト教学校における平和教育とSDGs」(3~2面)
- ▶第7回キリスト教看護教育推進会議 (4面)
- ▶キリスト教Q&A (< // >)
- ▶公募、行事予定 (< // >)

キリスト教学校教育 3

2020・2021年度教研テーマ
キリスト教学校の使命と可能性—いのちの尊さと平和を求めて—

(一社)キリスト教学校教育同盟
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館72号室
電話 03(6233)8225
FAX 03(6233)8226
理事長 西原 康太
編集人 田村 浩一
頒価200円(加盟法人の購読料は会費に含まれています)
(毎月1回15日発行)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標(SDGs) ロゴと17のアイコン

3~2面 キリスト教学校における平和教育とSDGs アンケート集計をご覧ください

現代の世界や日本を見て新たな転換期に立っていると考えられる人は多いのではないかと。先ず地球温暖化がある。人間の活動は化石燃料を大量に使用し、その結果多くの二酸化炭素を地球の周りに排出し、その温室効果ガスの増大により地球温暖化が進行した。温暖化による海水温度の上昇に伴い、台風やハリケーンの巨大化、洪水の頻発も生じている。これを所得から見れば、世界の富裕層上位10%が世界の二酸化炭素の半分を排出し、下位50%の人々は10%しか排出していない。SDGsに取り組む際には、このような格差の現実も直視しなければならない。

さらに、AIやICTの発達がある。障がい者を助けるパソコンやロボットの開発、世界を繋ぐ情報通信技術の発達も人々の生活を豊かにした。一方で、AIを用いたドローン兵器による他国への攻撃など、科学兵器による戦争の脅威も増している。

2022・2023年度教研テーマ 希望と喜びに生きる 新たな転換期に立つ キリスト教学校



小暮修也

このように今までの経験が通用しない時代を生きている時には、教育も正解を早く解くのではなく、試行錯誤しながら、悩み、考

え、想像力を持って働くことに重きを置く必要がある。また、物事を一面的だけでなく多面的にとらえることも重要となる。ところで、現在の状況を

負とばかりとらえず、夢を持って懸命に生きています。人、新たに踏み出している

活用して新しい方法で友情を育み、新しいことを学び、より健康に生きようとする努力をする人たちがたくさんいます。勇気を出して、新たな挑戦に踏み出しているように見えます。

「『ロストジェネレーション』ではなく、『ウェルカムジェネレーション』という名前の方が、ふさわしいと思います。なぜなら、この世代は変化を恐れるのではなく、『ようこそ』と言いつつ前に進んでいっているからです。」(2021年9月20日、国連SDGモニター)

困難の中でキリスト教学校も、たゆまず教育研究を続け、キリストにある希望と喜びを持って歩んでゆきたい。

「明治学院学院長、教育同盟教研担当理事」

2021年度教育研究 一覧に基づいて、中間講評の補足をいただいた。2021年12月27日、オンラインで開催された。教研担当理事と事務局の他に、全国から16名の委員が参加し、22年度の教研テーマの策定を中心とした活発な意見交換がおこなわれた。

開会挨拶と祈りの後、大学部会、中高部会、小学部会、聖書科部会、事務職員部会、後継者養成部会の各部会より、引き続き、新たな教研テーマの策定の議論に入

つた。まず、小暮修也教研担当理事から、事前アンケートの回答15編と、それを整理分類した一覧表をもとに、今回のアンケートから読み取れる特徴と傾向について解説がなされた。

第三は、現在の地球環境変動や、あるいは貧困格差の問題など、世界が直面する深刻な諸問題を意識しつつ、未来の持続可能な社会の実現に向けて、キリスト教学校でできる学びを深め共有していきたいというもの。

第四は、これが一番多く寄せられた意見であったが、コロナ後の世界を見据えて、今、そして次の新しい時代に向けて、キリスト教学校の独自性と可能性を見直し、そのなかに働いている、変わらぬ恵み、希望、建学の精神をあらためて確認していこう、というものであった。

議論は、当初予定していたグループセッションが、アクシデントで行えず、最初から最後まで全体での討議となったが、順次候補を絞っていき、最終的に、「希望と喜びに生きる—新たな転換期に立つキリスト教学校—」を22・23年度の教研テーマとする、ということと一致した。

この新たなテーマのもと、22・23年度の教研各部会の活動が、さらに活発に、充実したものとなることを心から期待したい。

聖書のことば



思い起こすことは重要なことと思われま。それにしましても、なぜ宣教師たちは様々なリスクを冒してまでも日本へ赴いたのでしょ。色々な理由が考えられますが、その根本にはやはり、復活されたイエス・キリストが弟子たちへ最後に語られた、「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい」という言葉があったからでありま。イエス・キリストが十字架に磔にされたのは人々の罪によってでありました。けれども、復活のイエス・キリストは、激怒されるのではなく、「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」という約束をもしてくださいます。この、イエス・キリストの憐みによって罪を赦され、恵みに満たされた者が、あらゆる危険を冒し、身を賭してでも、そのイエス・キリストの恵みを伝えようとするのです。

「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」—この御言葉は、日本に福音が伝えられ、教会が、そして多くのキリスト教学校が出来たきっかけの言葉となりました。それどころか、なおも先を十分に見通せない今日の時代状況にあって、すべての方たちへ勇気を与えてくれる内容を持つものではないでしょうか。〈金城学院大学文学部宗教主事〉

けんじ 落合建仁

加盟校動静

野本真也氏(元同志社理事長、元教育同盟理事) 2021年10月10日逝去、85歳。2009年、

本紙1月号2面学校代表者協議会開会礼拝の報告者は正しくは野田美由(訂正)

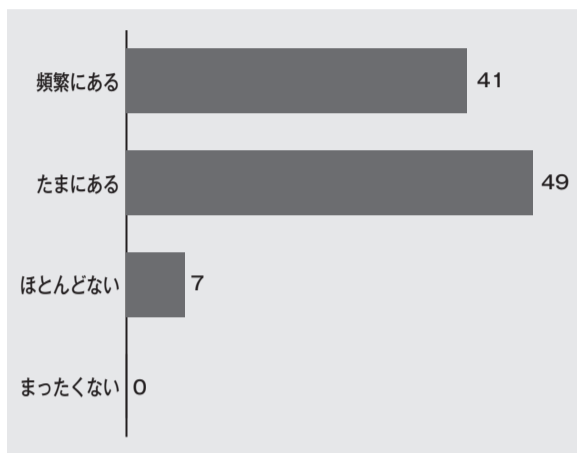
11年、教育同盟理事長を務められた。謹んで哀悼の意を表します。

紀先生でした。3面一関西地区新任教師研修会」の本文中、川口僚佑先生は正しくは川口僚佑先生です。また、写真キャプションは山崎哲嗣氏の訂正します。

(3面よりつづく)

- に喜び、泣く人共に泣く」
- ・ベトロの手紙14章—賜物を生かして互いに仕える
 - ・ガラテヤの信徒への手紙3章—皆キリスト・イエスにおいて一つ
 - ・ヤコブの手紙5章—富んでいる人たちに對して

設問4 礼拝において、これまで平和あるいは平和教育に関連するテーマで説教や聖書の話が行われることはありましたか？



→ある場合、どのような聖書箇所からどのような話がなされたかお書きください。

(抜粋)

- ・詩編85編—正義と平和の口づけ
- ・イザヤ書2章・ミカ書4章—剣を鋤に、槍を鎌に、憲法9条について、平和の希求
- ・マタイによる福音書5章—平和を実現する人は幸い
- ・ローマの信徒への手紙12章—キリストにおける新しい生活→緒方貞子さんの生涯
- ・エフェソの信徒への手紙4章—十字架によって敵意の壁を取り除かれた
- ・フィリピの信徒への手紙4章—あらゆる人知を越える神の平和

設問5 キリスト教学校の建学の精神をSDGsの具体的な目標にそって捉えなおし、「平和で持続可能な社会の構築」というSDGsの目標の達成にキリスト教教育は具体的にどのように貢献できると思いますか？

<回答より考察>

加盟校の多くが建学の精神に「神を敬う」「隣人を愛する」という二つのベクトルを掲げ教育に当たっていることから、建学の精神がSDGsのあらゆる目標に結び付きうるし、とりわけ「平和で持続可能な社会の構築」という目標の達成に貢献できるという回答が多かった。もともと行ってきたキリスト教教育を展開し続けることは、今般広く掲げられているSDGsの旗に一致することでもあり、むしろ「キャンペーン化したSDGs」以前から取り組んでいるという矜持さえ感じられた。必要とされる制度や仕組みや技術を形にするのも大切だが、それをなす人格を育てていくところにキリスト教学校の使命を見ている様子が窺えた。小学校では、例年「平和」を考える講演や戦争体験者による授業、平和を祈る礼拝、戦争文学読書などの取り組みをしている学校があった。中高では、リサーチから提案までの一連の学びを生徒たち自身が協働して実践を交えて学ぶ様子が報告されていた。大学では、同盟として各大学に「平和

の科学」講座の設置を提案し、そのテキスト用に「平和の科学」シリーズを出版してはどうかという提案もあった。各学年、校種で教育活動の可能な方策は異なるが、一過性の流行やキャンペーンによるヒューマニズムの次元にとどまることなく、神の創られた人間に備わる尊厳理解、神の支配の及ぶ自然理解に根拠を置いたSDGsへの歩みに軸足を置こうとしている姿勢が読み取れた。これこそキリスト教学校以外の学校との決定的な違いと言えよう。

設問6 SDGsの教育に関する目標の4-7には「2030年までに、すべての学習者が、とりわけ持続可能な開発のための教育と、持続可能なライフスタイル、人権、ジェンダー平等、平和と非暴力文化の推進、グローバル・シチズンシップ(=地球市民の精神)、文化多様性の尊重、持続可能な開発に文化が貢献することの価値意識、などの教育を通して、持続可能な開発を促進するために必要な知識とスキルを確実に習得できるようにする」とあります。このような教育目標を達成するにはどのような教育を行うことが必要だと考えますか？

<回答より考察>

「持続可能な開発のための教育(ESD)」を文部科学省は小中では新学習指導要領にまた高等教育でも行動にむけた変容を呼び掛け、学校現場でも目標達成のための対話、体験をととした主体的な思考、他者理解を薦めており、授業に取り入れたいとの回答が多い。

目標に向けた具体的方法と項目では聖書に基づく隣人愛、平和の視点に立った教育、礼拝とキリスト教を土台としての教育と授業が不可欠。教科横断的にSDGsのテーマを絞り、高校では調べ学習、探求の時間、体験を通じた理解と考察を支援すること。大学ではゼミなどのカリキュラム構成による授業、倫理、当事者意識を深化させる内容とすること。SDGsの多様な課題の理解に留学、スタディ・ツアー、ボランティア活動の提言、等が目立った。

ある高校ではSDGsの提言目標に向けて、外部の専門家の講演や施設訪問、クリスチャン教員の参画による生徒間での議論の場を一年次に設置している。SDGsの中から礼拝のテーマ(貧困、食品ロスなど)を月毎に決め、奨励者、学生、教職員に課題を考える機会を作り、多様性と人権教育の立場からジェンダー研究を進めている大学もある。2030年までの期限に向けた世界的課題への行動を建学の精神、聖書に立脚したキリスト教倫理から問い直す不断の努力、世界的課題への当事者意識教育の模索への必要性が現場の声から数多く伺えた。

設問7 キリスト教学校におけるSDGs教育や平和教育の推進にあたって、キリスト教学校教育同盟に期待すること、あるいは「キリスト教学校教育」紙への要望をお書きください。

<回答より考察>

教育同盟、および「キリスト教学校教育」に期待することとして、小学校から大学、特別支援まで、どの学校からも、各学校でのSDGsに関する取り組み、実践を紙面などで取り上げて共有させてほしいという内容が最も多かった。さらに、国内だけでなく近隣のアジア諸国やオセアニアとの学校交流、海外の教会との交流、講師を招いての講演会などの企画や案内、各校

の分量的に紹介しきれない実践内容は紙面のQRコードなどで詳細がわかるようなしくみ、実践をまとめたものを冊子にして各校に配る、先進的に取り組んでいる学校に対し表彰する、コンテストを開催して賞を同盟で設ける、ジェンダーやセクシュアリティなど新しい視点も取り入れてほしいなどの案も出されていた。

また、SDGsの枠にキリスト教教育がはめられるのではなく、SDGsとキリスト教教育の違いやずれを、聖書をもとに明確にすべき、SDGsをトレンドのようにアピールすることへの違和感、SDGsの持つ問題点にも目を向けるべきなどの慎重論もいくつか寄せられた。

さらに、SDGs以前の本来のキリスト教教育の普遍性の発信、キリスト教の立場からSDGsが国内外でどう理解されているのかを紹介、神学的にとらえなおす必要があるとその理論的なバックアップなど、キリスト教や神学的な視点からの意見もいくつか見られた。

設問8 キリスト教学校の建学の精神に基づく、SDGs時代における平和教育のあり方、課題、そして可能性などについてのお考えを、ご自由にお書きください。

<回答より考察>

改めてSDGsと謳わずとも、キリスト教学校はSDGsに関わる教育をこれまでずっとその柱に据えてきたとする記述が特に多く見られた。その中で、世界中で流行語のように使われるSDGsという表現にむしろ違和感を抱くという意見も多々見られ、いずれ消えてゆき別の語にとって代わるような流行り言葉に囚われるのではなく、むしろ各学校が元々確固として持っている建学の精神、スクールモットーを、SDGsが世界的に話題となっている今を機に、もう一度それぞれが伝え確かめる営みこそがSDGsに繋がることになるとする記述が目立った。さらに、今こそキリストの教えを授業や礼拝や学校の諸々のプログラムの中でさらに深めて教えるべきとする意見(具体的なテーマとして挙げられていたものは、平和教育、ジェンダー教育、環境教育、人権教育など多岐にわたる)、講義形式のキリスト教教育にとどまらず学生・生徒・児童がディスカッションして自身の問題として捉えてゆく学習が必須とする意見、近隣校や姉妹校などとの学習交流が求められるとする意見などに加え、キリスト教教育を単なる机上の学びではなく、キリスト教精神を具体的な場で実践することこそが真のSDGsになるとする意見も数多く出された。また、教職員のキリスト教教育に関する研修がまず必要であるとの記述も多々見られ、キリスト教学校教育同盟の活動に向けては、「キリスト教学校教育」紙上にシリーズで投稿してもらい、各学校で用いることが可能な平和教育テキストを刊行するなどの提案も出された。

※学校名、回答者名を不掲載、固有名詞など一部編集の上、回答一覧を下記に掲載しています。



<https://bit.ly/3oKOKda>

アンケート集計 **キリスト教学校における 平和教育とSDGs**

「誰一人取り残さない」というスローガンを掲げる「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、キリスト教学校の教育理念と相通するものがあるのではないかと。このような問題意識の下、加盟校におけるSDGsへの取り組みを伺い、キリスト教学校の建学の精神に基づく平和教育の現状と課題を考える機会とすることを趣旨としてアンケート調査を行った。本号はその結果と分析の特集である。

キリスト教学校の使命とSDGsが掲げている目標には多かれ少なかれ関連があるとの回答が多くを占め、キリスト教教育とSDGsとの関連に対する関心の高さを伺い知ることができた。具体的な点について、各設問に対する分析と考察を参照されたい。

いくつかのアンケート回答に見られるように、人間は神の被造物の責任ある管理(スチュワードシップ)を委ねられた責任応答的存在である。SDGsは地球規模での環境保全の問題が社会や経済の問題と不可分であることを強調しており、キリスト教学校の平和教育も貧困、不平等、ジェンダー、人権などのSDGsの目標に照らして、その内実を問い直す機会となりうることもアンケートから読み取れる。

建学の精神に基づくキリスト教教育、とりわけ人格教育の重要な課題の一つは、被造物に対する人間の責任主体意識を確立すること、そして「地の管理者」としての人間の倫理的責任を明らかにすることであろう。そのような主体性を育むキリスト教学校の側にもSDGs達成のためのグローバルなパートナーとしての自覚と、「誰一人取り残さない」社会を目指すグローバルな連帯意識が求められているのではないかと。世界的なコロナ禍ゆえにSDGsの取り組みが後退し、2030年までの達成の困難さが懸念されている中、次世代の社会を担っていく生徒や学生が主体的に物事を考え、参与する教育実践を考える上でキリスト教学校におけるSDGsとの取り組みは重要であり続けるであろう。アンケートを寄せていただいた加盟校の中からSDGsへの取り組みの実践例を今後の紙面において紹介していく予定である。またSDGsと平和教育に関するテキスト作成への要望も貴重な意見として受け止めたい。回答を寄せてくださった加盟校の教職員の方々にあらためて感謝の意を表したい。(広報委員会)

<回答より考察>

回答を寄せてくださった大多数の学校が、キリスト教学校の使命とSDGsが掲げる目標とが無関係ではないと回答している。とくに関連性の深いアジェンダとしては、環境、いのち、平和、人権等の課題を挙げる学校が多かった。中でも「誰一人取り残さない」というSDGsのキーワードに共感し、そこにキリスト教の「隣人愛」との相関性を見ている学校が全体としては多いように見受けられた。また回答からは、気候変動、生態系の保護などの環境的課題を神の創られた被造物の保全として、貧困、不平等、ジェンダーなどの課題解消を他者との共生として、また、この世界、地域社会における平和の実現と構築など、SDGsの掲げる17の目標をキリスト教信仰の課題として捉えている学校が多いことがわかる。

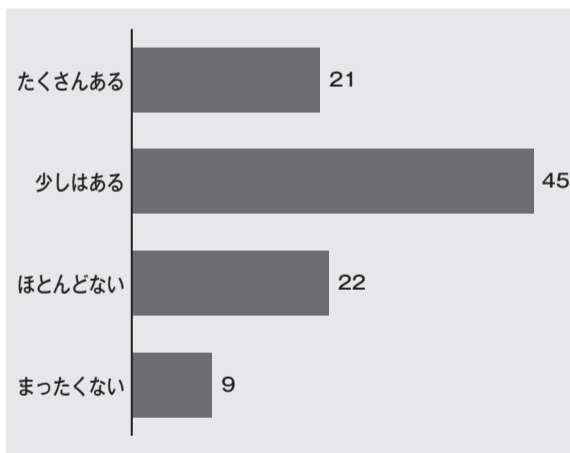
一方で、具体的な数字を掲げ、課題と取り組むSDGsを評価しつつも、SDGsは一つの指標でしかなく、それを聖書の語る真理として、具体的にどのように掲げていくことが適しているか、扱い方が難しいとの回答もあった。

全体的な印象としては、SDGsという世界的な取り組みが、キリスト教学校の使命を再確認させる良い機会となっているように思われる。

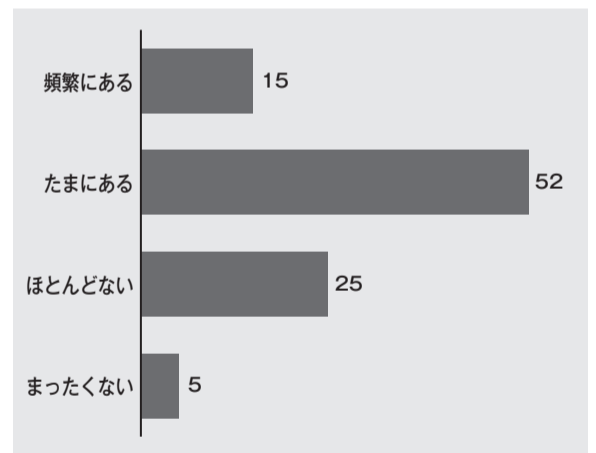
回答者学校種別

小学校	19
中学校	3
高等学校	9
中高一貫/併設校	36
短大	1
大学/大学院	23
法人	3
特別支援学校・専門学校	1
小中高一貫校	1
小中学校	1
合計	97

設問1 貴校の学校案内やホームページなどにおいてSDGs関連語句への言及はありますか？



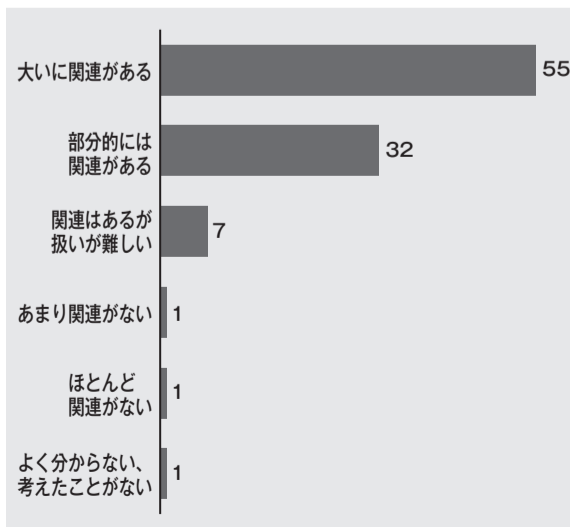
設問3 礼拝において、これまでSDGsに関連するテーマで説教や聖書の話が行われることはありましたか？



回答者職種

教員	24
事務職	3
事務長	0
宗教主任・主事/チャプレン	32
副校長/教頭	12
校長	19
学長	5
学院長/学園長	2
合計	97

設問2 キリスト教学校の使命と可能性はSDGsが掲げる目標とどれくらい関連性があると思いますか？



→ある場合、どのような聖書箇所からどのような話がなされたかお書きください。

(抜粋)

- ・創世記1・2章—いのちの多様性、神が創られた世界・自然の尊さ
- ・申命記6章—隣人を自分のように愛せよ
- ・イザヤ書40章—神の前における人間の平等・差別の禁止
- ・詩編104編—作物・家畜等命のつながりと命をいただいている、海の生き物の多様性やプラスチックゴミ問題
- ・マタイによる福音書5章—山上の説教、22章—最も重要な掟
- ・ルカによる福音書6章—貧困や飢餓に関して
- ・ヨハネによる福音書9章—貧困・不平等・差別を乗り越え、障がい者と共に生きる
- ・ローマの信徒への手紙12章—「喜ぶ人と共

(2面につづく)

キリスト教学校における 看護教育とは

隣人愛に生き抜いた先輩に学ぶ

第7回キリスト教看護教育推進会議
聖隷クリストファー大学で開催

看護教育に携わる加盟校も、差別と偏見の中で苦難を強いられ生きるより他ななかった結核の青年とは」の主題のもと、第7回キリスト教看護教育推進会議が2021年12月4日に聖隷クリストファー大学にてオンライン形式で開催された。出席者は加盟校20名、当番校出席者・講師・スタッフの合計80名。大城昌平学長による挨拶、永井英司宗教主任による開会礼拝にはじまり、長谷川了聖隷学園理事長による発題「隣人愛に生き抜いた先輩に学ぶ」があった。

昭和の初期、聖隷の創設者長谷川保氏を含む数名のクリスチャンが、激しい迫害に遭いながら

物語が、聖隷歴史資料館としていることをやり通すためには、困難と厳しさを耐え抜く精神力、それを切り開いてゆく知恵と工夫が必要であること、また、そのような苦闘の中にある人たちの気持ちから勝手についてどうせやるなら先頭を走れ、日本一を目指せ」という長谷川保氏の言葉に象徴されるように、我が国初の特別養護老人ホームやホスピス、今や全国に展開する救急ヘリコプター、後に介護福祉士の養成学校のモデルとなるヘルパー学園の創設に至る物語が紹介された。

また、聖隷学園の将来構想として、今後の社会の変化とグローバル化を見据え、メデイカルスクールの国を超えた医師の養成や、キリスト教保育に基づくこども園、国際バカロレア教育の認定プログラム取得をめざす小中学校、高校教育の実践とビジョンについて語られた。世の中が必要

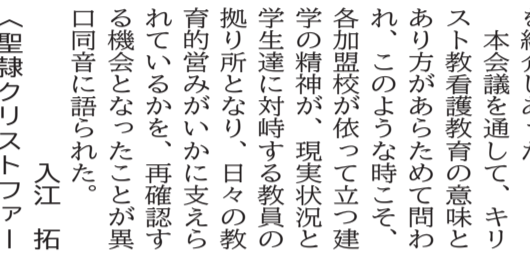
長谷川了 聖隷学園理事長 講演



Zoom参加者とともに



聖隷クリストファー大学看護学部教授



本会議を通して、キリスト教看護教育の意味とあり方があらためて問われ、このような時こそ、各加盟校が依って立つ建学の精神が、現実状況と学生達に對峙する教員の拠り所となり、日々の教育的営みがいかに支えられているかを、再確認する機会となったことが異口同音に語られた。

入江 拓
△聖隷クリストファー大学看護学部教授

2022年度 学内教職員研修会講師派遣対象校選考結果

希望テーマ	研修人数	法人・校名
キリスト教教育の実践(具現化)	150	茨城キリスト教学園
人権感覚を磨く	55	聖坂学院・聖坂養護学校
地方の中小規模キリスト教学校(大学法人)におけるキリスト教教育とキリスト教学校の学校(法人)運営において、今何が大切か	150	山梨英和学院
キリスト教教育と多様性	100	ヴォーリス学園・近江兄弟社中高
学生への支援について	30	夙川学院・神戸教育短期大学
キリスト教主義学校で働く意義	40~50	松山東雲学園・松山東雲中高

公募

▽活水女子大学
採用予定日 5月1日
職種 健康生活学部生活デザイン学科
教授、准教授、講師
又は助教1名
問合せ 0774-65-8911

▽青山学院
採用予定日 23年4月1日
職種 専任事務職員(新卒)6~10名(予定)
問合せ 03-3499-6018

▽明治学院高等学校
採用予定日 3月31日
職種 理科非常勤講師2名
問合せ 03-5421-5011

▽北陸学院中学校・高等学校
採用予定日 4月1日
職種 国語科、英語科非常勤講師各2名
問合せ 076-221-1944

△同志社国際中学校・高等学校
採用予定日 3月31日まで
問合せ 076-221-1944

事務局だより

教研全国委員会で22年度度の教研テーマが策定されました(一面)。何が起るのか分からない現代においてキリスト教学校が共に学び進もうという思いが込められています。昨今教育課題としても挙げられるSDGsですが、キリスト教学校ならではの取り組みについてアンケート結果を掲載しています(3・2面)。興味深い内容でせ致します。事務局長

キリスト教Q&A

—キリスト教の理解を深めるために—



三河 悠希子
(活水中学校・高等学校) 宗教主事

キリスト教徒って暇なんですか? 毎週日曜日に教会に行くなんて

3連休の日曜日に教会の礼拝に生徒を誘ったら、「先生暇ですね。教会に行くなんて」と言われてしまいました。連休だから遊びに行けばいいのにと思ったのでしょうか。でも、行くところがなくて暇だから教会に行っているわけではありません。私たちは毎日ごはんを食べます。ごはんをしっかりと食べる人に「毎日3回も食事をするなんて暇だね」とは言いません。私たちが元気に生活し、仕事や勉強をするためには食事から栄養を摂る必要があります。同じように、礼拝を通して、神様の言葉、聖書の言葉を聞いて、栄養を摂る必要があります。礼拝で与えられる栄養は、神様に愛されていることの喜びや、励まし、希望、赦しです。私たちは忙しい生活の中で、神様の言葉を忘れることがあります。つらいことがあれば、自分が神様に愛されているということさえ、忘れそうになってしまうのです。だから、神様の愛や励ましを日曜日ごとに思い出して確認するのです。礼拝では御言葉を聞くほかにも、賛美や祈りもあります。この1週間神様に与えられた恵みに感謝して、神様を賛美したり、神様との会話であるお祈りをしたりします。

それなら毎日ごはんを食べるように、毎日礼拝をすればいいと思うかもしれませんが、もちろん、日曜日だけと言わずに、毎日礼拝をしてもいいんです。毎日礼拝のある学校もたくさんあります

し、毎朝祈り会をしている教会もあります。でも、多くの教会は日曜日に礼拝をしています(土曜日など別の曜日を主日としている教派もあります)。その理由は日曜日がキリストの復活の日だからです。まず、天地創造の7日目に神様がお休みになったので、ユダヤ教では土曜日を安息日として、仕事から離れ、神様を礼拝する日としていました。キリスト教では、イエス様が復活なさったのが日曜日だったので、キリストの復活を記念して日曜日に礼拝をするようになったのです。

父の日や母の日に皆さんはお父さんやお母さんに感謝をしますよね。その日しか感謝してはいけないのではなく、いつでも感謝してもいいのに、実際は毎日感謝するのは忘れてしまうでしょう。だからこそ、父の日や母の日だけは確実に感謝するのです。同じように、イエス様の復活を記念する日曜日は「確実に」礼拝をして、御言葉を聞いて、賛美を捧げ、お祈りをします。それが日曜日の礼拝なのです。

でも、安心してください。もし、毎週日曜日に礼拝に行けなくても、教会は、そして神様は、皆さんが「たまに」でも礼拝に来てくれるのを歓迎しています。全く栄養を取らないより、「たまに」でも神様からの栄養を受け取った方がいいのですから。

<行事予定>
※オンライン併用、オンラインのみの場合もあります。

6/3~4	第110回定時総会 (横浜共立学園、オンライン併用)
18	第67回東日本小学校教職員協議会 (青山学院大学系属浦和ルーテル学院小学校)
7/23	第66回事務職員夏期学校(オンライン)
8/2~4	第9回中堅教員リトリート (同志社びわこリトリートセンター)
8~9	第7回全国災害支援連絡会議 (宮城県仙台市、石巻市、南三陸町)
16~18	第2回教員リフレッシュ研修 (奈良県洞川温泉)
17~19	第55回全国聖書科研究集会(鎮西学院大学)
22~23	第12回中堅事務職員リトリート (同志社びわこリトリートセンター)
26	第9回大学新任教員研修会(オンライン)
29~30	第8回全国事務局長・事務長会議 (東北学院大学)

一般社団法人キリスト教学校教育同盟
「eラーニング」による
教員免許状更新講習について

・22年度申込受付 2月16日
・受講開始 4月18日

※現時点では終了期限を「発展的解消まで」とします。

詳細は教育同盟ホームページかQRコードよりご覧ください。